

- 画面のキャプチャー、録音はご遠慮ください。
- 説明会中はカメラとマイクはオフにしてください。
- ご質問は「質問内容」をチャットでご入力ください。
- 説明の後にもうけております質疑応答の時間内に、すぐに回答可能なものから順に回答させていただく予定です。
- ご回答につきましては、後日、本公募のページに掲載いたします。
- 本説明資料は、後日、本公募のページに掲載いたします。
- 掲載は10/9(金)頃を予定しております。
- なお、チャットは本説明会の参加者全員が閲覧可能です。
- 以降のお問い合わせは、メールでお問い合わせください。

「風力発電等導入支援事業／洋上ウィンドファーム開発支援事業／
地盤・海象・気象等の調査・観測技術の高度化・高効率化に関する
研究開発」

公募説明会資料

2026年9月29日

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
再生可能エネルギー部

<目次>

1. 事業概要
2. 応募について
3. 委託先の選定について
4. 事前相談・留意事項
5. 問い合わせ先

(1) 背景・目的

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、洋上風力発電においては、2030年までに1,000万kW、2040年までに3,000万から4,500万kWの案件を形成するという意欲的な導入目標が示されており、沖合での着床式および浮体式洋上ウィンドファームの導入拡大が必要となっています。また「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に関する法律」の施行(令和8年4月1日)に伴い、排他的経済水域(EEZ)における洋上風力発電の展開も期待されております。

このように期待の集まる洋上風力発電を着実に普及させていくためには、洋上風力発電事業の計画から設計、施工及び運転に至る各段階においては、風況、海象及び地盤等のサイト条件を適切に把握・評価することが重要です。

しかしながら、我が国においては、複雑な海底地盤の調査に係る費用及び期間の増大、海象観測及び予測に係る標準的な評価手法の未整備、大規模ウィンドファームにおけるウェイク影響や風荷重・極端気象が風力発電システムに与える影響を適切に評価する技術の未確立等の課題があります。

本事業では、これらの課題の解決を通じて、洋上風力発電の導入拡大及び低コスト化に資する研究開発を行います。

(2) 事業内容

次の研究開発項目(Ⅰ)～(Ⅲ)の3つの調査を実施します。

・研究開発項目(Ⅰ)：

「洋上風力発電のための地盤調査の高精度化・高効率化・低コスト化技術の開発」

本研究開発項目は、洋上風力発電設備の大量導入やEEZへの展開を見据え、洋上風力発電設備や海底送電線などウィンドファームの基本設計に必要な海底地盤情報を高精度かつ効率的に取得・評価できる技術基盤の確立を目的として、効率的な地盤情報取得技術、迅速な調査技術、取得データの評価手法および地盤データベースの開発等を通じて、海底地盤調査の高精度化、高効率化および低コスト化に資する技術開発を実施します。

効率的な地盤情報取得技術、迅速な調査技術、取得データの評価手法及び地盤データベースに関する研究開発の研究テーマ例

- ✓ 地盤調査の低コスト化・高効率化技術の開発・実証
- ✓ 地盤評価技術の高度化技術の開発・実証
- ✓ 地盤評価技術の高精度化に必要な地盤情報データベースの構築等
- ✓ 開発機器の実海域(大水深・EEZ等)での実証・検証
- ✓ 設計・認証への適用、手法の標準化、地盤調査に係る指針等の策定
- ✓ 地盤物性推定技術の開発

(2) 事業内容

・研究開発項目(Ⅱ):

「洋上風力発電のための海象観測・予測技術と評価手法の確立」

本研究開発項目は、洋上風力発電の事業性評価、設計・施工要件の検討、施工機会の評価およびウィンドファーム認証に必要な海象観測・予測データを高精度かつ効率的に取得・評価できる技術基盤の確立を目的として、海象観測・予測手法および評価手法の体系的な整理・標準化を行うとともに、本邦海域に適した合理的な評価技術の開発を通じて、観測・認証の合理化および施工機会の向上に資する技術開発を実施します。

海象観測技術、海象予測技術、観測・予測データの評価手法の体系的整理・標準化並びに合理的な評価技術に関する研究開発の研究テーマ例

- ✓ 海洋構造物の国内外設計指針の調査、認証機関へのヒアリング整理、取纏め
- ✓ 洋上風力発電設備向け海象観測手法の開発、標準化、ガイドブックの作成
- ✓ 海象予測・評価手法の合理化・標準化

(2) 事業内容

・研究開発項目(Ⅲ):

「洋上風力発電の低コスト化、発電量向上及び長寿命化等に資する
風況等観測・評価技術の開発」

本研究開発項目は、ウィンドファームの大規模化・集積化および設置海域の沖合化に対応した発電量向上と設備の長寿命化に資する技術基盤の確立を目的として、ウェイクの観測・評価・制御技術、風車に作用する風荷重評価技術および台風等を考慮した極値評価手法の高度化に資する技術開発を実施します。

風車相互作用による発電性能・荷重影響の観測・評価・制御技術、風車に作用する風荷重評価技術および台風等の極端気象を考慮した極値評価手法に関する研究開発の研究テーマ例

✓ 風車相互作用による発電性能・荷重影響の観測・評価・制御技術の開発

(風車周辺の流れ場特性の把握、最適なウェイク制御技術の検証、浮体運動を考慮した空力応答解析・CFD等による数値解析・シミュレーションモデルの構築、実機パラメータでの連成解析)

✓ 極値算定手法の調査開発・検討

✓ 発電の量最大化と荷重低減化を実現するウィンドファーム制御アルゴリズム等の検討

(3) 事業期間

2026年度～2027年度

(4) 事業規模

総額17億円程度

研究開発項目ごとの予算規模の上限の目安は、研究開発項目(Ⅰ)10億円程度、研究開発項目(Ⅱ)3億円程度、研究開発項目(Ⅲ)4億円程度を想定しています。

なお、本予算規模は社会・経済状況、政府の研究開発費予算の確保状況等によって変動することがあります。また、契約額は、審査の結果及び国の予算の変更等により提案額から減額して契約することがあります。

2. 応募について

公募要領(2.応募要件・実施要件)



(1) 応募内容

研究開発項目(Ⅰ)～(Ⅲ)の3つの研究開発項目を、それぞれ募集します。(2)事業内容に記載の研究テーマ例から一部を抜き出した部分提案も可能とします。なお、同一の企業等が、複数の研究開発項目(例:研究開発項目(Ⅰ)と(Ⅲ)など)に同時に応募することも可能とします。その場合、提案書は、研究開発項目毎に作成し、提出してください。

(2)応募資格

応募資格のある法人は、次の(a)～(g)までの条件、「基本計画」等に表示された条件を満たす、単独又は複数で受託を希望する企業・大学等とします。なお、国立研究開発法人が応募する場合、国立研究開発法人から民間企業への再委託又は共同実施(再委託先又は共同実施先へ資金の流れがないものを除く。)は、原則認めておりませんのでご留意ください。

- a. 当該技術又は関連技術の研究開発の実績を有し、かつ、研究開発目標達成及び研究計画遂行に必要な組織、人員等を有していること。
- b. 委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤、資金及び設備等の十分な管理能力を有し、かつ、情報管理体制等を有していること。
- c. NEDOが事業を推進する上で必要とする措置を、委託契約に基づき適切に遂行できる体制を有していること。
- d. 企業等が事業に応募する場合は、当該事業の研究開発成果の実用化・事業化計画の立案とその実現について十分な能力を有していること。
- e. 研究組合、公益法人等が応募する場合は、参画する各企業等が当該事業の研究開発成果の実用化・事業化計画の立案とその実現について十分な能力を有するとともに、応募する研究組合等とそこに参画する企業等の責任と役割が明確化されていること。
- f. 複数の企業等が共同して事業に応募する場合は、実用化・事業化に向けた各企業等間の責任と役割が明確化されていること。
- g. 本邦の企業・大学等で日本国内に研究開発拠点を有していること。なお、国外の企業・大学等(研究機関を含む)の特別な研究開発能力、研究施設等の活用又は国際標準獲得の観点から国外の企業・大学等との連携が必要な場合は、国外の企業・大学等も参画する形で実施することができる。

【実施要件】

本事業は、採択後、業務委託契約を締結します。業務委託契約の締結にあたっては、最新の「業務委託契約約款」を適用します。その他必要に応じて、特別約款の適用を求める場合があります。また委託業務の事務処理においては、NEDO が提示する事務処理マニュアルに基づき実施いただきます。事業の実施にあたっては、該当する約款及びマニュアルを遵守いただくことが要件となります。

【参考】委託事業の手続き：約款・様式

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html>

委託事業の手続き：マニュアル

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

(1) 提出期限及び提出方法

提案書等の提出書類を準備し、以下の提出期限までに電子申請システム「Jグランツ」上で申請してください。なお、持参、郵送、FAX又はE-mailによる提出は原則受け付けません。ただし、NEDOから別途指示があった場合は、この限りではありません。

【提出期限】2026年10月22日(木)正午まで

※応募状況等により、公募期間を延長する場合があります。公募期間を延長する場合は、NEDOウェブサイトの公募ページ上でお知らせいたします。

【提出先】Jグランツ公募ページ申請URL

<https://www.jgrants-portal.go.jp/subsidy/a0WJ200000CDeOLMA1?wfid=a0XJ2000007h964MAA>

【提出方法】

電子申請システム「Jグランツ」上で、必要項目を入力し提出書類をアップロードした上で申請してください。複数法人による共同提案を行う場合は、代表法人が提出書類を取りまとめの上、代表法人が申請を行ってください。代表法人以外の法人のJグランツ上の申請は不要です。

Jグランツの使用にあたっては、事前にGビズIDの「GビズIDプライムアカウント」または「GビズIDメンバーアカウント」が必要です。GビズIDの取得は2週間以上かかる場合もあるため、GビズIDを未取得であれば余裕をもって登録手続きを行ってください。

Jグランツで申請操作完了後、システムから自動送信メールが届きます。申請内容や提出書類に不備がある場合は、修正等の対応をお願いする場合がありますので、NEDO担当者の指示に従ってください。

その他GビズIDの取得やJグランツ利用・申請にあたっては、以下のウェブサイトをご確認ください。

【参考】NEDO事業の公募におけるJグランツでの応募受付について

https://www.nedo.go.jp/koubo/ZZAN_100061.html

【提出にあたっての留意事項】

- ・ 提出書類は日本語で作成してください。
- ・ Jグランツ上の「事業の名称」への入力規則は以下の通りお願いいたします。

研究開発項目番号＋提案件名

(例：(I)地盤調査の低コスト化・高効率化技術の開発・実証)

- ・ 「応募要件」を満たさない者の提出書類又は不備がある提出書類は受理できません。
- ・ 提出書類に不備があり、提出期限までに修正できない場合は、提案を無効とさせていただきます。受理後であっても、応募要件の不備が発覚した場合は、無効となる場合があります。
- ・ Jグランツ上の申請は、提出期限を厳守ください。提出期限までに申請完了できなかった場合は、応募は受け付けできませんので、余裕をもって提出してください。
- ・ 再提出は受付期間内であれば何度でも可能です。
- ・ 再提出を希望する場合は、必ずNEDO担当者へご連絡ください。NEDOがJグランツ上で差し戻し処理を行った後、修正内容を反映した提案書を再提出してください。
- ・ 万が一、応募者の責に依らない理由(例：組織形態上、GビズIDの取得がそもそも不可でJグランツが利用できない、Jグランツ等の外部システムの障害発生により申請ができない 等)により、提出期限までにJグランツ上の申請が困難な場合には、提出期限前までに必ずNEDO担当者まで連絡し、NEDO担当者の指示に従ってください。
- ・ Jグランツ上にアップロードするファイルは提出書類ごとに作成し、一つのzip ファイルにまとめてください。なお、アップロードするファイル(PDF、zip等)にはパスワードは付けしないでください。
- ・ アップロードされたファイルにおいて、ウイルス検知又はその疑い等があると当機構が判断した場合は、調査のため第三者へファイルの提供を行う場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 公正な審査を行うための利害関係の確認として、Jグランツ上で以下の項目について入力を求めていますので、あらかじめご了承ください。

■入力項目

- ①代表法人名称及び共同提案法人名称(共同提案の場合は、提案法人名を列記)
- ②提案の概要(300文字以内)
- ③提案内容、手法のポイント(600文字以内)
- ④責任者名(所属部署・職名含む)(法人ごとに列記。委託事業の場合は研究開発責任者、補助事業の場合は主任研究者)
- ⑤利害関係者(※)

(2) 提出書類

以下の提出書類が必要となります。

提出書類のチェックリスト

別添1: 提案書

別添2: 研究開発責任者 研究経歴書及び若手研究者(40歳以下)数

別添3: 提案者情報

別添4: NEDO事業遂行上に係る情報管理体制の確認票

別添5: 提案概要資料

直近の事業報告書 直近3年分の単体／連結財務諸表(原則、円単位)(※)

3. 採択先の選定について

公募要領(4.採択先の選定)



(1) 審査の方法

外部有識者による採択審査委員会で審査の上、その結果を踏まえ、NEDO 内の契約・交付審査委員会を経て、最終的に実施者を決定します。

審査結果を研究開発項目(Ⅰ)～(Ⅲ)ごとにとりまとめ、予算の範囲内で実施者を決定します。必要に応じてヒアリング審査や資料の追加、代表者面談等をお願いする場合があります。なお、採択先の選定は非公開で行われ、審査の経過等、審査に関する問い合わせには 応じられませんのであらかじめご了承ください。

(2) 審査基準

採択審査の基準

- i. 事業の適合性(本事業の目的・目標に適合しているか 等)
- ii. 開発の優位性(開発内容に新規性・優位性等があるか 等)
- iii. 計画の妥当性(達成目標が明確で、スケジュールが効率的・効果的か 等)
- iv. 実用化・事業化の取組(実用化・事業化のターゲットが明確で、それに向けた取組に実現性・実行性があるか、社会・経済への波及効果が期待できるか 等)
- v. 実施体制・能力(役割分担が明確で効率的な体制か、必要な人員・設備・支援体制や関連分野の開発実績を有するか 等)
- vi. 提案の経済性(予算の範囲内で必要経費を適切に計上しているか、他事業との重複なく妥当な予算規模か 等)
- vii. 総合評価

なお、採択審査にあたり、以下の要素で加点を行います。

- 女性活躍推進法に基づく認定企業(えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業)、次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業(くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業・トライくるみん認定企業)、若者雇用促進法に基づく認定企業(ユースエール認定企業)に対しては加点します。
- 中堅・中小・ベンチャー企業が直接委託先であり、研究開発遂行や実用化・事業化にあたっての重要な役割を担っている場合に加点します。
- 若手研究者(40歳以下)が研究開発責任者若しくは主要研究者として実施体制に含まれ、当該研究者の実績や将来性等を加味した提案になっている場合に加点します。

(3) 採択先の公表及び通知

a. 採択結果の公表等

採択した案件に関しては、事業者名(委託事業の場合の再委託先・共同実施先、補助事業の場合の委託先・共同研究先含む)、事業概要をNEDOのウェブサイト等で公表します。不採択とした案件については、その旨を不採択とした理由とともに提案者へ通知します。

b. 採択審査委員の氏名の公表

採択審査委員の氏名は、採択案件の公表時に公表します。

c. 附帯条件

採択に当たって条件(予算や体制の変更、経費の支払方法等)を付す場合があります。

3. 採択先の選定について

公募要領(4.採択先の選定)



(4) 選定スケジュール

	9月			10月			11月			12月		
公募期間												
書面審査												
採択審査 委員会												
契約審査												

- 2026年9月18日 : 公募開始
- 2026年9月29日 : 公募説明会(オンライン)
- 2026年10月22日 : 公募締切
- 2026年11月下旬(予定) : 採択審査委員会(外部有識者による審査)
- 2026年12月中旬(予定) : 契約・交付審査委員会
- 2026年12月下旬(予定) : 委託先決定
- 2026年12月下旬(予定) : 公表
- 2027年2月下旬(予定) : 契約締結

4. 事前相談・留意事項

公募要領(6. 事前相談の受付

7. その他重要事項・留意事項)



本公募への提案を検討されている方向けに、提案内容の公募趣旨・内容への適合性や提案にあたっての疑問点・不明点等について、事前相談を受け付けています。事前相談をご希望の方は、以下の申込期間中にお申し込みください。なお、事前相談のお申し込みは先着順とさせていただきます。申し込みが多数となった場合や申し込みが殺到した場合などは事前相談をお受けできない場合もございますので、余裕を持って早めにお申し込みください。

申込期間: 2026年9月18日(金)10時00分～2026年10月2日(金)17時00分まで

申込方法: 添付ファイル「事前相談申込書フォーマット」に必要事項を記入の上、申込期間内に以下の宛先まで提出ください。日時や会議用URL等は、NEDO担当者から別途ご連絡します。

提出先: wind_tyakushou@ml.nedo.go.jp

件名の頭に「【2026公募04】」を記載の上、ご提出ください。

応募時の留意点や採択後の各種事務手続きなど、その他の重要事項や留意事項を「【別紙】その他重要事項・留意事項」にまとめて記載してありますので、応募にあたっては必ず事前にご一読ください。

本公募の内容に関する質問等は本説明会で受け付けます。それ以降のお問い合わせは、2026年9月18日(金)から10月2日(金)の間に限り、以下の問い合わせ先の E-mail で受け付けます。

ただし、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

電子メール: wind_tyakushou@ml.nedo.go.jp

※お問い合わせの際は、件名の頭に「【2026公募04】」を記載の上、ご連絡ください。

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
再生可能エネルギー部 風力・海洋ユニット
担当 寺岡、奥、上田、大庭 宛

ご応募、お待ちしております。

**11時までには質問事項をチャットへ
ご入力ください
回答は後日ホームページへ
掲載いたします。**